

【科目名】	理学療法各論Ⅵ(発達障害)	専門分野(1単位)	【講師名】	渡辺 似望(理学療法士)、阿部 順(理学療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (90分15回)		【時間帯】	13:00 ~ 14:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	正常運動発達と小児疾患に対する理解と国家試験対策						
前提知識	デンバー式発達スクリーニング検査および遠城寺式発達検査について小児がんを理解するための腫瘍に対する病理的知識について						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	国家試験に必要な知識を身に付ける						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	90				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月17日	1	正常運動発達	反射中枢、出現時期、反射の形式	渡辺
4月17日	2	正常運動発達と評価	新生児期からの発達	渡辺
4月18日	3	異常姿勢反射とその見方	正常運動発達を阻害する反射	渡辺
4月18日	4	脳性麻痺総論①	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月19日	5	脳性麻痺総論②	痙直型脳性麻痺、アトーゼ型脳性麻痺	渡辺
4月19日	6	脳性麻痺各論①	評価、理学療法プログラム	渡辺
4月24日	7	脳性麻痺各論②	家族を含む多職種との関わり、環境、資源の活用	渡辺
4月24日	8	ダウン症等	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月25日	9	二分脊椎等	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月25日	10	発達障害の確認		渡辺
5月8日	11	小児期のがん①	がんの概要、病理、小児の特徴について	阿部
5月8日	12	小児期のがん②	骨肉腫、骨髄性白血病等	阿部
5月9日	13	がんのリハビリテーション①	がんの二次障害、病的骨折	阿部
5月9日	14	がんのリハビリテーション②	リンパドレナージ、緩和療法、予後予測	阿部
5月16日	15	まとめと評価		渡辺
教科書 参考書	PT・OT国家試験 必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 医歯薬出版株式会社			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	研究法	専門分野 (1単位)	【講師名】	木幡博人(理学療法士)			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	9:00 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	実習を通し、経験・学んだ症例を通して、1年次から3年次まで学習した知識の総復習を行う。また、同時に再度症例に対して考察・実施内容の再検討を行う事で、知識の定着を図り、今後の臨床に繋げられるよう学習する。						
前提知識	1年次から3年次までの基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	各分野についての知識の定着 各疾患における知識の応用能力の習得						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	5	90			5	
	実施時期	平時	当科目終了時			当科目内	
	補足	質疑応答など	障害像など				
	関心・意欲	○	○			○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論		○			○	
実践・表現					○		

授業計画				
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
1	理学療法と研究①	症例に対する一般・社会的・医学的情報の整理と解釈	木幡	
2	理学療法と研究④	理学療法評価からの解釈・統合と妥当性の検討 理学療法評価からの治療選択と妥当性の検討	木幡	
3	研究と解釈①	治療実践における経過からの解釈と妥当性の検討 介入開始から終了までを通した、症例における解釈と考察	木幡	
4	理学療法研究の展開①	介入終了後における予後・生活面を含めた解釈と考察	木幡	
5	まとめと評価①	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識 理学療法を行う上で必要な知識全般	木幡	
6	まとめと評価②		木幡	
7	まとめと評価③		木幡	
8	まとめと評価④		木幡	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
教科書 参考書	1年次から3年次までに使用した教科書と参考書			
授業に必要な物				
備考	ディスカッションは積極的に参加する事。また授業外で知識の復習を積極的に行う事。			

【科目名】	各論Ⅳ(疾患別)	専門分野 (2単位)	【講師名】 木幡 博人(理学療法士)、高村 真司(理学療法士)				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】 第3学年 理学療法学科				
【時間数】	60時間 (2時間 30回)		【時間帯】 9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)				
授業内容・目標	各教員がケースバイザーになり、学生個人個人に指導を促し、理学療法の一連の流れを理解する。						
前提知識	1年時～2年時終了までの知識や疾患の捉え方など総合的な知識、思考が求められる。						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	理学療法の一連の流れについて理解を深める。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		○				
	実施時期		当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○					
	思考・推論	○					
実証・表現	○						

授業計画				
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
4月2日	1	実習の振り返りと臨床実習の流れ	前回の実習内容の確認、次回の実習内容の確認	木幡
4月2日	2	中枢疾患について①	脳血管疾患、脳画像、脳解剖等	木幡
4月3日	3	中枢疾患について②		高村
4月3日	4	整形外科疾患について①	骨折、末梢神経損傷、脊髄損傷	高村
4月5日	5	整形外科疾患について②		高村
4月5日	6	動作分析①	起き上がり動作、立ち上がり動作、歩行動作、及び各姿勢	高村
4月8日	7	動作分析②		高村
4月9日	8	動作分析③		木幡
4月9日	9	確認	中枢疾患、整形外科疾患	木幡
4月10日	10	神経筋疾患について①	パーキンソン病、ALS、脊髄小脳変性症、重症筋無力症、ギランバレー等	高村
4月10日	11	神経筋疾患について②		高村
4月11日	12	問題点とICFについて①	問題点の抽出の仕方及びICFのまとめ方の確認	木幡
4月11日	13	問題点とICFについて②		木幡
4月11日	14	装具療法について	各装具の名称及び適応	木幡
4月11日	15	確認	神経筋疾患、装具療法	木幡
4月15日	16	精神疾患について	主な精神疾患の基礎知識の確認	木幡
4月15日	17	疾患のまとめ①	各疾患についての知識及びリハビリテーションの流れの再確認①	木幡
4月15日	18	疾患のまとめ②		高村
4月15日	19	疾患のまとめ③		高村
4月16日	20	臨床心理について	主な臨床心理についての基礎知識の確認	木幡
4月16日	21	各疾患の治療について①	各疾患についての知識及びリハビリテーションの流れの再確認②	木幡
4月16日	22	各疾患の治療について②		木幡
4月16日	23	各疾患の治療について③		木幡
4月17日	24	確認	精神疾患、臨床心理	高村
4月17日	25	各疾患の治療について④	各疾患についての知識及びリハビリテーションの流れの再確認③	高村
4月18日	26	各疾患の治療について⑤		木幡
4月18日	27	各疾患の治療について⑥		木幡
4月19日	28	呼吸器・循環器疾患について	主な呼吸器・循環器疾患についての基礎知識の確認	高村
4月19日	29	各疾患についてまとめ	これまでの各疾患学についての再確認	高村
5月7日	30	まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	それぞれに必要な文献、教科書等			
授業に必要な物	パソコン			
備考	教員とコミュニケーションを取りながら各疾患についての理解を深めていくよう行動すること。			

【科目名】	各論区(症例検討)	専門分野 (2単位)	【講師名】	木幡 博人(理学療法士)、佐藤 大樹(理学療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)			
授業内容・目標	各教員がケースバイザーになり、学生個人個人に指導を促し、理学療法の一連の流れを理解する。						
前提知識	1年時~2年時終了までの知識や疾患の捉え方など総合的な知識、思考が求められる。						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	理学療法の一連の流れについて理解を深める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		○				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○					
	思考・推論	○					
実践・表現	○						

授業計画				
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
4月2日	1	症例に対する理学療法について(PBL)①	実習の振り返りと進め方の確認	木幡
4月2日	2	症例に対する理学療法について(PBL)②	症例提示、PBLの準備	木幡
4月3日	3	症例に対する理学療法について(PBL)③	情報収集①	佐藤
4月3日	4	症例に対する理学療法について(PBL)④	情報収集②	佐藤
4月4日	5	症例に対する理学療法について(PBL)⑤	動作観察、分析	木幡
4月4日	6	症例に対する理学療法について(PBL)⑥	理学療法評価①	木幡
4月5日	7	症例に対する理学療法について(PBL)⑦	理学療法評価②	佐藤
4月5日	8	症例に対する理学療法について(PBL)⑧	問題点とICF、統合と解釈①	佐藤
4月8日	9	症例に対する理学療法について(PBL)⑨	問題点とICF、統合と解釈②	木幡
4月8日	10	症例に対する理学療法について(PBL)⑩	問題点とICF、統合と解釈③	佐藤
4月9日	11	症例に対する理学療法について(PBL)⑪	問題点とICF、統合と解釈④	木幡
4月9日	12	症例に対する理学療法について(PBL)⑫	修正とまとめ①	木幡
4月10日	13	症例に対する理学療法について(PBL)⑬	修正とまとめ②	佐藤
4月10日	14	症例に対する理学療法について(PBL)⑭	修正とまとめ③	佐藤
4月23日	15	まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	各疾患についての文献、教科書			
授業に必要な物	パソコン			
備考	教員とコミュニケーションを取りながら症例検討を進めていく。			

【科目名】	臨床実習Ⅱ-①	専門分野 (8単位)	【講師名】 臨床実習担当教員 高村真司(理学療法士)				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】 第3学年 理学療法学科				
【時間数】	360時間		【時間帯】				
授業内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義()	演習()	実習(○)				
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもとで行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画			
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
5月27日 ~ 7月26日 9週間 (45日間)	1	臨床実習Ⅱ-①	
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		
授業に必要な物			
備考			

【科目名】	臨床実習Ⅱ-②	専門分野 (8単位)	【講師名】	臨床実習担当教員 高村真司(理学療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	360時間		【時間帯】	9:00～12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義()	演習()	実習(○)				
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画			
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
8月27日 ～ 10月26日 9週間 (45日間)	臨床実習Ⅱ-②		
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		
授業に必要な物			
備考			